

会 議 名	第3回（仮称）高輪三丁目高齢者福祉施設等整備運営事業候補者選定委員会
開 催 日 時	平成30年9月3日（月曜日） 午後6時00分～午後9時00分
開 催 場 所	区役所9階 913会議室
委 員	（出席者）岡本委員長、佐藤副委員長、鳥羽委員、松浦委員、山本委員
事 務 局	保健福祉支援部 福祉施設整備担当課長小笹 保健福祉課福祉施設整備担当係長宮内、福祉施設整備担当井川 高齢者支援課高齢者施設係長中澤、高輪地区総合支所管理課長遠井、管理副係長清塚
会 議 次 第	1 開会 2 議題 （1）第2次審査について プレゼンテーション（プレゼンテーション15分、質疑15分程度） （2）事業候補者の決定について 3 閉会
配 付 資 料	資料1 第2次審査表 資料2 第1次・第2次審査集計表（再開後）
会議の結果及び主要な発言	
委員長 A委員  事業者A B委員 事業者A  C委員 事業者A C委員 事業者A  B委員 事業者A D委員 事業者A D委員 事業者A	<p>1 開会</p> <p>2 議題 （1）第2次審査について（プレゼンテーション・質疑）</p> <p>（事業者A プレゼンテーション） それでは質疑に入ります。 東京で運営する施設として、管理者の給与が安いのは妥当なものと考えているか。</p> <p>横浜の運営施設を参考にしました。 グループホームの食費と、小規模の泊まりの稼働率について、考え方を。 食費は、厳選した食材を考えおり、泊まりは原則ではなく、ケアプランとしてそれほど提唱していないことを前提に考えています。</p> <p>グループホームの介護重度化・ターミナルケアへの対応について。 終の棲家と考えており、看取り対応も医療機関と連携をとっていきたいです。 グループホームの料金が、15万9,000円と高いのは。 港区で、一番高くなるという認識はあります。充実した設備のために高目に計上しています。</p> <p>生活保護受給者についての考えは。 適正な価格設定を教えていただきながらやっていければと思います。 区民協働スペースの設計について、どのように使うのか。 ピロティ側側のサッシが全面的に開き、一体利用ができる仕様です。 小規模多機能の利用者の確保について考えは。 包括支援センターとの連携や、病院から在宅へというご家庭の方のソーシャル</p>

D委員 事業者A B委員 事業者A E委員 事業者A E委員 事業者A	<p>ワーカーと連携を図りながら、情報を上げさせていただくなど、対応していく考えです。</p> <p>隣の病院との関係はどのように考えているか。</p> <p>隣というのは非常に心強いと思っており、ぜひ活用させていただきたい。</p> <p>グループホームで重度化している方と元気な方との調整はどのようにするのか。家族会の運営は。</p> <p>家族会については、開催していません。検討していければと思います。元気な方とターミナルの兼ね合いについては、一緒に暮らしているご利用者様の最期の時を送るのは重要なことで、最期まで関わっていきたいと考えます。</p> <p>各フロアに、職員のスペースが一切なく、1階に集約している。</p> <p>食堂で全体の管理をし、休憩は、順番に1階でとります。</p> <p>食堂で管理する場合、記録の保管については、鍵のかかるキャビネットをキッチンに置きます。</p>
委員長 A委員 事業者B A委員 事業者B	<p>(事業者Bプレゼンテーション)</p> <p>それでは質疑に入ります。</p> <p>この施設の受付方法は、また職員のためのスペースが見受けられない。</p> <p>インターホンで呼び出します。職員室がユニットごとにあります。</p> <p>区民協働スペースについての考え方は。</p> <p>区民の方が主体的に使われ、こちらは補佐的な感じになると思いますが、今、地域に必要とされていることを、できれば区民の方と一緒にやっていきたいと思っています。</p>
B委員 事業者B C委員 事業者B	<p>小規模が2フロアに分かれているというのは。</p> <p>通いはにぎやかに、泊まりは静かにというイメージです。</p> <p>ターミナルケアについて。</p> <p>希望があれば、最期まで看取りをさせていただく、最期は自宅ということであれば、自宅で最期を迎えられるようなサポートをしていきます。</p>
C委員 事業者B E委員 事業者B	<p>職員体制については。</p> <p>ターミナルケアをするという、余分に人が要するという事はないです。</p> <p>生活保護受給者への対応と、社会福祉法人の利用者負担軽減制度の活用について。</p> <p>利用者負担軽減制度は、法人が減額分を負担する制度です。生活保護の方については行政と相談し、可能な範囲ですり合わせていくと思います。</p>
B委員 事業者B	<p>グループホームでの、慣れ親しんだ活動に参加し続けるとありますが、具体的な内容は。</p> <p>毎月家族会をやっており、60%から70%のご家族の参加があります。もう一つは、地域の皆さん方のかかわり。既存施設は町内会とつながり、町内の方も日常的に来てくださります。</p>
A委員 事業者B	<p>区民協働スペースは、こちらが想定している広さより大きいですが、もし事業者となった場合、調整は可能ですか。</p> <p>80㎡は倉庫も含めてですか。大分小さいですね。それはでも、まあ、やろうと思えばということですね。</p>
D委員 事業者B	<p>東京での人材確保と、利用者の確保について。</p> <p>職員確保は、広報、面接会や学校に足を運ぶ等、現実的に、構えなきやいけないと思っています。利用者確保は、地域にPRをしていく。近隣の町内で説明会を開く、チラシをつくる、宣伝をしっかりしていきたい。</p>
D委員 事業者B E委員	<p>隣の病院との関係はどのように考えているか。</p> <p>できれば、連携をとっていきたいと思っています。</p> <p>災害が起きた際のほかの地域からのバックアップ体制について。</p>

事業者B	日頃から、他の法人さんと関係を持っておくというのが非常に大切だと思っています。
委員長	(事業者Cプレゼンテーション)
A委員	それでは質疑に入ります。
事業者C	危機管理対策の安心カメラのイメージは。 転倒や事故が起きた際に、事故の内容を確認する、認知症の方で周辺症状がおさまらない方に、24時間ぐらいさかのぼって、どのような生活を送られたか確認するなど活用します。
B委員	リハビリのスタッフは配置するのか。
事業者C	看護師が兼ねて対応する予定です。当法人で多職種に関して勉強会を開催しており、知識を深めていければと考えています。
C委員	出張型の認知症カフェは連携を取って行うのか。
事業者C	計画し連携をとり、実施しています。
E委員	苦情解決について、職員研修は、どのような取り組みを。
事業者C	eラーニングで、各職員が研修できる体制が整っています。
B委員	小規模稼働率の60%は、現状での予測か。
事業者C	区内にある小規模多機能で、開設後半年で18名です。堅めな予算を立てています。
B委員	職員配置の半数を、5年以上の経験者というのは可能か。
事業者C	スケールメリットを生かし、各事業所から1名、10人はベテラン職員がそろいます。
A委員	復職率が100%、正規職員の話だと思うが、非常勤の集め方は。
事業者C	グループホームは、ほぼ正社員。20名中3名を契約社員に。3名は、ご本人の働き方の希望への対応です。
B委員	小規模は外出支援やトイレの介助など手厚い訪問をやっているが。
事業者C	外出についてはその方の生活を維持していく、今まで通っていたお店を利用してもらおう。トイレで困っているという方が多く、宿泊サービスを活用し、その方の状況を把握し、在宅でのサービスをどうしていくか、専門職を集めて話をしているという状況です。
C委員	グループホームの食事について、一緒につくるのは、職員の負担も大きいのでは。
事業者C	入居者で調理が得意な方もおり、職員が支援していただく状況もあります。
D委員	ターミナルケアのサポートについて。
事業者C	自宅での看取りを希望された場合は、小規模多機能に移り、情報を共有し、スムーズに対応できた例もあります。
D委員	隣の病院との関係は。
事業者C	きちんとした関係をつくっていきたいと思っています。
D委員	マニュアルを年間50本修正と書いてあるが、周知徹底はどのように。
事業者C	情報共有管理システムで保管し、必要なものをダウンロードします。
委員長	<b>(2) 各事業者の講評</b> それでは、これより審議に入ります。各事業者によるプレゼンテーション、質疑を受けての、講評をお願いしたいと思います。
C委員	最初に事業者Aについて 運営理念を具体化するノウハウが十分でないと感じました。終の棲家との位置付けですが、様々なケースに対応することが必要かと思っています。登録者の確保、人材確保についても、どうノウハウを発揮するのかビジョンが乏しいです。
B委員	設計図は病院的な発想があり、生活のゆとりが感じられません。重度化へ至る

E 委員	<p>までの生活が長いので、グループホーム本来の目的から違っているという感じがしました。食材費で、それを使っているいろいろな機能や、生きる喜びを引き出すなどの提案がなかったです。</p> <p>食材費について高ければいいという考えや、家族会の運営がないのは、利用者や家族の意見をしっかり受けとめて運営しようという思いがあったのか不安があります。</p>
A 委員	<p>1次評価で具体性に欠けるという評価でしたが、具体性がないまま終わり、実際、運営をどうやるのか見えませんでした。</p>
D 委員	<p>生活保護対応について十分考えているかという点と、質問への回答が的確でなく具体性に乏しいです。</p>
委員長 C 委員	<p>事業者Bについてお願いします。</p> <p>全体的にまとまったプレゼンテーションでした。ただ、地域包括ケアシステムの構築で、1番目に介護予防を挙げ、その活動を区民協働スペースでというのは無理があるのでは。区民協働スペースの使い方や広さについて修正が可能か懸念されるところです。グループホームの居間と食堂のスペースは広く、活用ができると思いました。ターミナルケアでそれほど人材は必要ないというのは心配と思いました。</p>
B 委員	<p>個室にトイレがあるのは、一人一人の尊厳が考えられており、介護の質として高くなる。小規模が2フロアに分けられており、人員配置がどうなるか気になりました。</p>
E 委員	<p>災害時の他法人との連携や、家族会や地域との交流について積極的に考えられています。入り口がインターホンなのは、面会やボランティアに対してどうなのかという心配はあります。</p>
A 委員	<p>職員のスペースが要らないというのは雇用主としてどうなのか。一番気になりました。</p>
D 委員	<p>図面を見ると、広さもあり、個室に全部トイレがついているというのはいいと思いました。家族会の運営や災害に遭った経験から、ノウハウがあるのも貴重です。ただ、区民協働スペースの問題が一番引っかかったところですね。</p>
委員長 C 委員	<p>事業者Cについてお願いします。</p> <p>全体的にバランスがとれている印象です。ライフステージごとにどのように見ていくか分かりやすい。地域との連携で、出張認知症カフェや、入所前や折に触れて、アセスメントをするというのもよかったと思いました。</p> <p>設計図面は、玄関があり、区民協働スペースと施設へ誘導できる対応をしている。</p>
B 委員	<p>入り口、エントランスがよく考えられている。経験のある職員を半数は配置できる働き続けられる環境づくりをしている、グループホームと小規模の運営で、それぞれの特性に合わせた丁寧な支援を考えている、という点が、評価の理由です。</p>
E 委員	<p>施設のゾーニングで、ユニット間に休憩室があり、臨機応変な対応ができる。職員体制も、ある程度の対応はできると思いました。家族会や、地域に出るところも具体性があったと思います。施設長予定者も、一番発言されており、自分になったらというイメージを持っていると感じられ、まとまっていたと思いました。</p>
A 委員	<p>説明は具体的で、話を聞いて運営のイメージがわいてきました。もし自分の家族だったら入ってもいいかなと感じられ、一番高い点数になりました。</p>
D 委員	<p>全体的には、一番バランスがとれていると思いました。</p>

委員長	<p>(3) 事業候補者の決定について  審査結果を確定したいと思います。事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>A事業者、第2次審査が213点で、第1次審査との合計点が755点。  B事業者、第2次審査が321点で、第1次審査との合計が996点。  C事業者、第2次審査が368点で、第1次審査との合計は1,113点。</p>
委員長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、第1位の事業者Cを(仮称)高輪三丁目高齢者福祉施設等整備運営事業候補者と決定することについて、よろしいでしょうか。</p>
各委員 委員長	<p>(はい)  ご異議がないということですので、事業者Cを事業候補者とすることで決定します。</p>
委員長 各委員 委員長	<p>次に事業者Bが次点になります。よろしいでしょうか。  (はい)  では、事業者Bを次点と決定いたします。</p>
<p>3 閉会</p>	